

事業計画書兼補助金交付申請理由書

【事業計画書の作成に当たって】		
事業計画書の作成に当たっては、福山市まちづくりサポートセンターへ相談していただくことも可能です。		
事業名 〇〇学区デジタル化応援事業		
※補助金交付の対象となるのは次の事業です。最も当てはまるもの <u>1つ</u> にチェックをしてください。		
<input checked="" type="checkbox"/> 地域課題の解決に取り組む事業 <input type="checkbox"/> 地域活性化に取り組む事業 <input type="checkbox"/> 地域の魅力創出、魅力発信に取り組む事業 <input type="checkbox"/> 地域の教育、福祉、環境、安心・安全の向上に取り組む事業		
連携先	まちづくり推進委員会等名 〇〇学区まちづくり推進委員会	代表者 委員長 〇〇 〇〇
目的（補助事業により解決をめざす課題） 〇〇学区は高齢化率 XX%と高く、地域活動の負担が大きくなっています。会議や情報共有の負担軽減にデジタル化は不可欠です。〇〇学区のデジタル化をサポートし、地域活動に参加しやすい環境を整備します。		
課題解決の手法 1 スマホ講習会の実施(月1回) 当団体の会員や外部講師が、地域活動の役員同士の連絡を SNS で行うなど活発化できるよう支援する。そのほか回覧板の電子化やキャッシュレス決済の使用方法など、希望に応じて開催する。 ※役員以外にも広く参加を呼び掛ける。 2 学区ホームページの作成支援 学区ホームページの作成には、〇〇学区まちづくり推進委員会に当初から参加してもらうことで、更新・閲覧する当事者がより分かりやすく、負担なく更新できるようにする。		
実施期間 2024年6月1日 ～ 2025年3月31日		
スケジュール 6月～1月 月に1回、スマホ講習会を実施 8月～10月 学区ホームページ作成に向けて、機能やデザインの確定 11月～ 学区ホームページ作成 作成・更新のマニュアルを作成 12月 学区ホームページ運用開始 1月～3月 ホームページ更新作業のサポート		

学区（町・地区）との連携方法

月1回、定期的に情報交換の場を設け、スマホ講習会及び学区ホームページ作成に向けた進捗管理を行う。

スマホ講習会については、開催前に、〇〇学区まちづくり推進委員会の役員と打合せを行い、現状の課題と講習会の目標を整理する。講習会ごとにアンケートを実施し振り返りを行い、次回に向けた改善につなげる。

学区ホームページの作成支援については、委員会で新たに設置されるホームページ担当者等と意見交換を行いながらホームページの作成、更新を進める。

翌年度以降の計画

2025年度 〇〇学区におけるデジタル化の状況についてまちづくり推進委員会の役員へヒアリングを実施し必要に応じてアドバイス等を行う。また、他学区におけるデジタル化のサポートや当団体 SNS で地域のデジタル化の事例を紹介するなど、地域のデジタル化の輪を広げていく。

期待する効果	学区 (町・地区)	<ul style="list-style-type: none">・デジタル化することで、場所や時間にとらわれることなく、スムーズに情報共有を行うことができる。・ホームページで情報発信することで、回覧板の配布や資料の印刷などの手間が省ける(負担軽減になる)。・ホームページで情報発信することで、より多くの人に〇〇学区について知ってもらえる。
	実施団体	<ul style="list-style-type: none">・地域住民と連携することで、団体の活動を PR するとともに、実際の利用者の声を間近で確認できるため、今後の活動をよりよいものにすることができる。

申請団体の概要	団体の特徴	20歳代～60歳代の幅広い世代で様々な職種の会員が、それぞれの専門的知識を活かして活動しています。地域や学校とも活発に交流を行っています。
	活動状況・実績	会員相互の情報交換を図るため、毎月定例会と勉強会を行っています。 また、〇月には…、〇月には…などの活動を行い、…の成果を得ました。 ※詳細は別添資料のとおり。
	事務局（連絡先）	名前：福山 太郎 住所：福山市東桜町3番5号 電話：084-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail：△△△△△△@fukuyama.co.jp

補助金交付申請理由

今回の事業は、市民活動団体が実施する公益的な社会貢献活動であり、本事業を通じて団体活動を促進するものです。

つきましては、事業実施にあたり活動費の一部を負担していただく必要があり、福山市市民活動スタートアップ事業補助金地域連携コースの交付を申請するものです。

※記入しきれない場合には、別紙（任意）を添付してください